

地域をまもり
未来を創る
まちづくり

ち

千葉国際芸術祭 2025

Chiba City Arts Triennale 2025

ちから、ひらく。



千葉開府 900 年

千の葉に 時を刻んで 900年

2025年度上期 市長と語ろう会



すべての世代で“転入超過”

転入超過数（上位10都市の年代別内訳）

住民基本台帳人口移動報告 2024年（令和6年）結果

順位(R5)	都市	総数	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	対前年 増減数
1(1)	東京23区	58,804	-8,689	8,377	87,549	-4,841	-4,645	-5,523	-13,427	4,905 (1)
2(2)	大阪市	16,090	-3,131	1,652	18,547	-1,913	153	493	289	3,124 (4)
3(4)	札幌市	10,830	610	2,151	2,149	927	899	797	3,297	1,897 (6)
4(3)	横浜市	10,805	-408	1,811	8,783	1,801	380	-734	-828	1,074 (10)
5(5)	福岡市	8,507	-100	2,248	5,254	121	310	-48	722	-404
6(8)	千葉市	8,399	734	846	3,095	1,891	681	256	895	3,311 (2)
7(6)	さいたま市	7,159	683	553	3,382	2,001	366	-66	241	-472
8(7)	川崎市	6,461	-2,278	874	12,355	-1,503	-1,038	-1,112	-836	986 (13)
9(27)	名古屋市	4,515	-1,660	12	6,393	-750	49	0	469	3,303 (3)
10(16)	松戸市	2,958	75	262	2,151	384	24	26	37	1,070 (11)

0～9歳は全国3位（政令市の中では1位）、30～49歳は全国1位


千葉市は、
子育て世帯を含む
全世代で転入超過

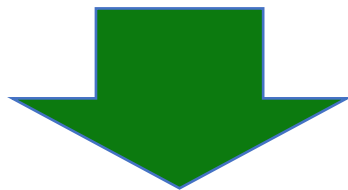
東京23区や川崎市は、
0～9歳や子育て世代で
転出超過



地域をまもり、未来を創るまちづくり

【課題】

- ・市全体で見るとまだ人口は増加し続けてはいるものの、今後人口減少局面に突入することは避けられない。
- ・そのような中でも、子育て支援策、雇用の創出などに取り組み、豊かな市民生活を実現していくことが必要



そのために…

- 多様な主体との連携により「地域のちから」を引き出しつつ、市民が安全・安心に暮らせるよう地域をまもる
- 都市基盤を強化することで持続可能な未来を創る

「地域をまもり、未来を創る」まちづくりを進める

地域をまもり、未来を創るまちづくり

01

「地域をまもる」

足許の地域の課題をつぶさに把握し、
スピード感を持って対処する

- ① 安全な下水道を維持するための取組み
- ② 持続的な公共交通ネットワークの構築
- ③ 切れ目のない子育て支援
- ④ 市民の生活と地域の安全を支える
- ⑤ （仮称）千葉市立幕張海浜病院
- ⑥ 健康づくりの充実
- ⑦ 災害対応体制の強化、防災力の向上

02

「未来を創る」

都市基盤を強化することで
持続可能な未来を創る

- ① 公園の再整備・身近な公園のトイレの快適化
- ② 都市としての魅力向上
- ③ 脱炭素社会の実現と地域経済の活性化
- ④ 道路ネットワークの形成
- ⑤ 河川を活用したまちづくり
- ⑥ 千葉開府 900 年に向けた取組み
千葉国際芸術祭 2025 の開催
- ⑦ 900 年の歴史を受け継ぎ、地域のちからを
未来につなげる

安全な下水道を維持するための取組み

① 浸水対策

13の重点地区のうち4地区で実施中。

② 老朽化対策

年数の経過した管路のテレビカメラ調査などを実施し、必要な修繕および改築を実施。



劣化した下水道管
(2)



雨水を貯め、浸水から
街の安全をまもる雨水貯留槽 (1)



内側に帯状のプラスチックを
巻き立て修理した下水道管 (2、3)

③ 耐震化対策

緊急輸送道路に埋設された管路や、防災拠点と処理場をつなぐ管路などの重要な幹線等の耐震化を実施。
(2024年度末：845kmのうち87.5%完了)



カワウソ一家

下水道管の緊急点検

- 埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、本市独自で緊急点検を実施し、すべての箇所では異常なし。



緊急点検の様子

新しい技術を用いた取組み

- ドローンを用いた雨水貯留幹線の点検を実施。



ドローン点検の様子

下水道のこれから

- 下水処理場内で下水汚泥の燃料化や太陽光発電を行っていくことで、運営費を減らすとともに、下水処理中に発生する温室効果ガスを抑え地球温暖化防止に努める。 4

持続的な公共交通ネットワークの構築

地域公共交通支援

路線バスやタクシーの運転手不足への対策として、
運転手養成支援や求人支援を実施。

生活交通バス路線維持支援

生活交通として必要なバス路線を維持するため、
バス事業者に対し、運行に係る経費の一部を助成。

バス停ベンチ設置

バス待ち環境や道路利用者の利便性の向上、
高齢者などの外出を支援するため、
バス停周辺にベンチを設置。

新たな地域公共交通導入に向けた社会実験

地域特性などを考慮した
地域主体によるデマンド型
交通の社会実験を実施。



高津戸乗合タクシー

グリーンスローモビリティ（グリスロ）

スポット的に公共交通への
アクセスが困難な地域において、
地域の方々とともに地域の
移動ニーズにきめ細かく対応。



グリスロ

切れ目のない子育て支援

社会全体で子育てを支え、子どもを産み育てたいと思える環境づくり

6年連続待機
児童ゼロ継続中！

千葉開府 900年
千の葉に 時を刻んで 900年

妊娠期からの支援

- ・プレコンセプションケアの推進
- ・伴走型相談支援
- ・エンゼルヘルパー派遣
- ・産後ケア(産後1年未満まで拡大)
- ・乳児一般健康診査
- ・子ども医療費助成(高3まで拡大)
- ・こども発達相談室運営



子育てしやすい 保育環境の充実

- ・民間保育園等整備
- ・保育士等給与改善
- ・ちばし幼児教育・保育人材支援
センター運営
- ・医療的ケア備品等整備助成
- ・病児・病後児保育
運営支援
- ・公立保育所主食提供
- ・乳児等通園支援事業
- ・保育料負担軽減対策



教育環境の充実 不登校対策の推進

- ・体育館冷暖房設備整備
- ・学校トイレの洋式化
- ・小学校専科指導のための
非常勤講師の配置
- ・教員奨学金返還サポート
- ・ライトポートの支援体制強化
- ・ステップルームティーチャー活用
- ・各種カウンセラー活用
- ・学びの多様化学校
- ・フリースクール運営委託
- ・千葉市子ども・若者総合相談
センター【Link(リンク)】



児童虐待防止対策の強化

- ・新児童相談所等の整備(中央区未広)
- ・一時保護所等入所児童の意見表明等支援

- ・こどもの権利救済相談窓口の配置
- ・親子関係再構築支援

切れ目のない子育て支援

教育環境の充実

- 市立小・中・中等教育・高・特別支援学校の体育館の冷暖房設備整備
- 学校トイレの洋式化
- 小学校専科指導のための非常勤講師の配置
- 教員奨学金返還サポート



不登校対策の推進

- ライトポートの支援体制強化
- ステップルームティーチャー活用
- 各種カウンセラー活用
- 学びの多様化学校
- フリースクール運営委託・支援
- 千葉市子ども・若者総合相談センター【Link(リンク)】



ステップルームティーチャー
活用の様子



ライトポートでの栽培活動

切れ目のない子育て支援

「千葉市こども・若者基本条例」制定

- すべてのこどもたちが自分らしくいきいきと健やかに成長できるよう
社会全体でこどもや子育て家庭を支援する機運の醸成
- こどもの権利の保障をはじめ、こどもに関する施策の総合的な推進

＜条例に基づく取組み＞

- ・ **こども・若者会議の設置**

市政やまちづくりに関する提案をいただき、
市政に反映させるよう努める。

＜その他の取組み＞

- ・ **学びの多様化学校**

特別な教育課程を整備した
「学びの多様化学校」を開校。



こども・若者会議のイメージ

- ・ **こどもの権利救済相談窓口の設置**

こどもの権利の侵害等について迅速に救済等を行う。

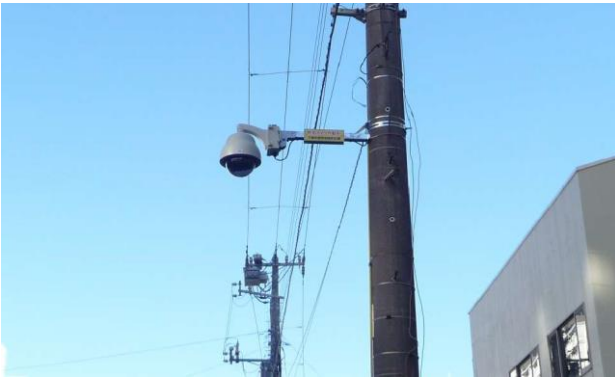
- ・ **こども家庭センターの設置**

母子保健機能と児童福祉機能が一体的運営を行うことにより、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、
切れ目のない支援を行う

市民の生活と地域の安全を支える

防犯カメラ設置

- 犯罪抑止効果を高め、安全で安心なまちづくりを推進するため、JR駅周辺に防犯カメラを設置。また、町内自治会等が設置する防犯カメラに係る費用の一部を助成。
補助率 4分の3、上限額：30万円／台



市民の安全を守る
防犯カメラ

コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度

- 外国人市民の円滑な意思疎通や情報伝達を支援するため、支援を必要とする外国人市民と通訳・翻訳ボランティアをマッチングする制度。



コミュニティ通訳

区役所を中心とした地域支援プラットフォームの構築

- 複雑多様化する地域課題の解決、町内自治会等の地域コミュニティの維持・強化を図るため、区役所を中心とした「地域支援プラットフォーム」の構築に向け交流を促進。

窓口の混雑緩和対応書かない窓口

- 窓口の混雑緩和を図るため、証明書自動交付機を中央区に導入。区役所市民総合窓口で、申請書に原則署名するだけで手続きが完了するシステムを導入。

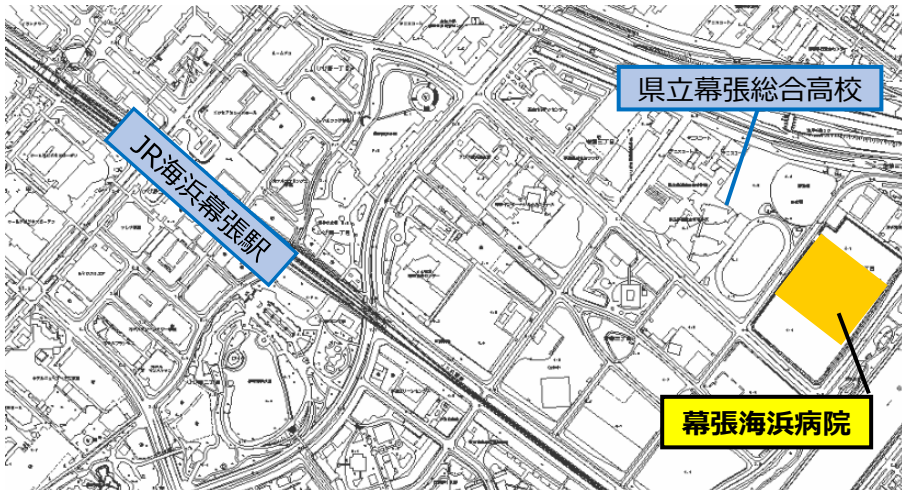
(仮称) 千葉市立幕張海浜病院

- ① 胎児から高齢者まで切れ目のない医療の提供
- ② 整形外科の強化
- ③ 救急医療の強化
- ④ 災害医療の強化
- ⑤ がん診療体制の強化
- ⑥ 感染対策の強化

2026年秋頃開院



外観イメージ（花見川通り側）



案内図



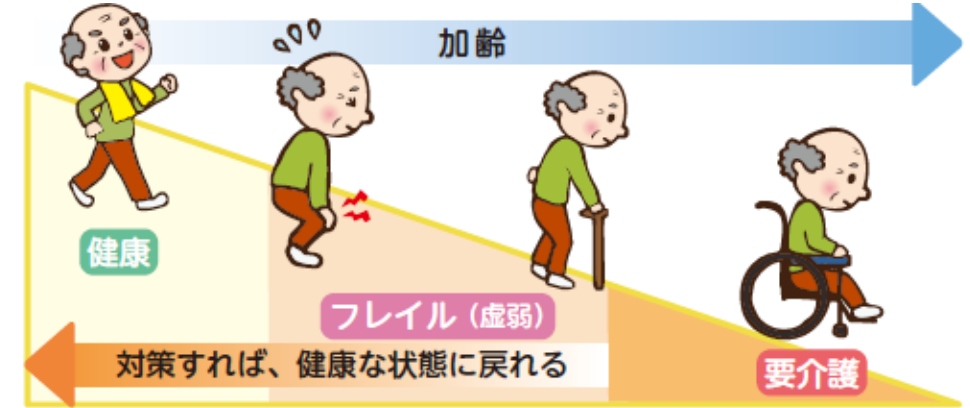
内観イメージ（総合受付）

健康づくりの充実

フレイル改善事業

フレイル状態の方に対し、リハビリテーション専門職が週に1回自宅に訪問し、身体機能や生活機能の回復に向けた、1週間の行動目標（ご自身で取り組んでいただくこと）を一緒に考えるとともに、毎週振り返りを行いながら、目標達成に向けたアドバイスを行う。

・支援期間：3か月～6か月



高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

各区保健福祉センター健康課 保健師・管理栄養士・歯科衛生士・看護師

◆ 通いの場・イベント等

健康教育

参加者の状態把握

健康相談

◆ フレイルが疑われる方への個別支援

低栄養

口腔機能低下

運動機能低下

带状疱疹ワクチン定期接種実施

带状疱疹予防接種の定期接種化に伴い、高齢者等を対象に接種を実施。

災害対応体制の強化、防災力の向上

災害対応体制の強化

- 想定最大規模の高潮における避難
風水害被害想定調査の結果を踏まえ、被害が最も大きくなる高潮について市民説明会等を実施し、市民・有識者の意見を幅広く取り入れた、実効性の高い高潮避難計画の策定を進める。
- 地震被害想定
首都直下地震において想定される建物被害・人的被害や生活への影響を調査
調査結果は、避難所及び備蓄品の整備方針や災害時要配慮者の支援体制等の検討に活用
- 防災備蓄倉庫の整備
マンホールトイレ用等機材や感染症対策物品などを保管するため、2020年度から2025年度までに市立学校等の指定避難所264箇所に追加整備予定
- 避難所運営委員会の活動支援
活動支援補助金等の支援

マンホールトイレの整備

- 災害時に避難者の健康保持を図るため、
県立高校へマンホールトイレを整備

消防力の充実・強化

- 消防防災ヘリコプター「おおとり2号」の機体更新
- 365日運航体制
- 岩手県大船渡市山林火災への職員派遣
期間：2025年2月～3月
派遣人数：159人



おおとり2号



火点搜索・消火活動

公園の再整備・身近な公園のトイレの快適化

官民連携による公園の魅力向上

• 千葉公園

Park-PFI制度を活用して飲食店、運動施設等の拠点施設や新たな賑わいや交流を生む施設を整備。

• 稲毛海浜公園

花の美術館が、世界で活躍するフラワーアーティスト「SEINO HIKARU」の全面プロデュースにより、芸術性を高めた「BOTANICA MUSEUM」としてリニューアル。

• 幕張海浜公園（2027年夏頃）

「人も緑も健やかに。～ウェルネスライフの幕開け～」をコンセプトに、広場やカフェ、明るく快適な緑陰などを整備。



芝庭
(千葉公園)



BOTANICA MUSEUM
(稲毛海浜公園)

身近な公園のトイレの快適化

- 便器の洋式化
- 照明のLED化、手洗いの自動水洗化
- トイレの内外装改修
- トイレの建替え工事



改修後の公園トイレ

都市としての魅力向上

中央公園プロムナードの再編検討

「車中心」から「ひと中心」のまちづくりへの転換に向け、中央公園プロムナードを「交流が生まれる場所」へ再編するため、広くまちづくりに関わる方々とともに検討を進める。



中央公園プロムナード

千葉マリスタジアムの再構築事業

幕張新都心の新たなまちづくりの拠点となる施設として、幕張メッセ駐車場に屋外型スタジアムの再構築を目指す。



ZOZOマリスタジアム

特別史跡加曽利貝塚新博物館の整備

縄文文化とSDGsを学ぶことができる博物館を目指す。

「生きている縄文」を学び・体験することで、現代や未来との関わりを考え、「未来への道しるべ」とする。



加曽利貝塚とかそりーぬ

脱炭素社会の実現と地域経済の活性化

脱炭素先行地域事業

2026年度に基本的に全ての市有施設の
電力消費に伴うCO₂ 排出実質ゼロを実現

- 市有施設等への太陽光発電設備の設置
- 清掃工場余剰電力を活用するためのシステム構築
- 市遊休地への太陽光発電設備の導入に係る調査



エコ葉

食のブランド化推進

市民が誇れる千葉市の「食」のブランドを確立し、本市産品の高付加価値化及び競争力強化を図るため、食のブランド認定制度を運用し、市内産品や食関連サービスのブランド認定品を創出するとともに、認知向上や販路の拡大の取り組みを進める。



千葉市の食を千年先へ
—未来に続く豊かな循環を食から—

企業立地促進、産業用地確保により 雇用を創出

- 2015～2023年度までの補助金交付企業がこれまでに14,000人以上の雇用を創出

例：メルセデス・ベンツ日本（合）本社
メルセデス・ベンツ・ファイナンス（株）本社
東洋エンジニアリング（株）本社
イオンネクスト（株）次世代型ネットスーパー拠点
（株）Peace Deli 食品製造工場

- 官民連携により産業用地を整備するとともに、企業誘致にも取り組んでいる

税収786億円
2015年度～
2023年度



ネクストコア千葉誉田

河川を活用したまちづくり

都川、花見川、鹿島川の魅力を発信する
「ちばかわまつり 2025」を開催。

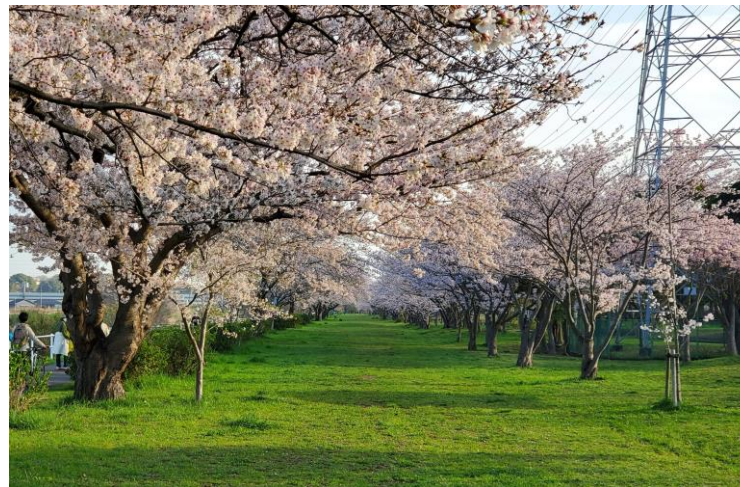
河川（都川、花見川、鹿島川）を活用し、地域の新たな賑わいや活力の創出へつなげていくため、河川空間とまちなかの公園などの地域資源を一体的に活用する社会実験などを行う。



ちばかわまつり（花見川）



都川（本町公園）



花見川（花見川千本桜緑地）



鹿島川（気球体験）

千葉開府 900 年に向けた取組み・千葉国際芸術祭2025の開催



千葉開府 900 年に向けた取組み

1126年6月1日

桓武天皇の子孫、常重(つねしげ)が現在の中央区亥鼻付近に本拠を移す → 千葉市のまちとしての歴史の始まり

2026年は千葉開府 900 年

- 「千葉一族からの学びを活かし、未来へ向けたひとづくり、文化づくり」を基本理念とし、記念事業を実施。
 - 先行期間：2025年度
 - 記念期間：2026年度
- 千葉開府 900 年記念事業を多くの市民や企業の皆様と共に作り上げていくための仕組みとして「メンバーシップ制度」を創設。



千葉開府 900 年

千の葉に 時を刻んで 900 年

千葉国際芸術祭2025の開催

開府 900 年のシンボル事業として、今年度に「千葉国際芸術祭2025」を開催。「市民参加型」として、数多くのアーティストによるアートプロジェクトが市内に展開。

3年ごとのトリエンナーレ形式による定期開催予定。

【集中展示・発表期間】

2025年9月19日～11月24日

【参加アーティスト数】

国内外あわせて 32 組が参加



千葉国際芸術祭 2025

Chiba City Arts Triennale 2025

ちから、ひらく。

郷土博物館のリニューアル

千葉開府900年に向けて、常設展示の全面的なリニューアルを行う。オープンには2025年 11 月を予定。



900年の歴史を受け継ぎ、地域のちからを未来につなげる

千葉開府 900年
千の葉に 時を刻んで 900年

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月
文化・芸術				【5/30~7/21】 蔦屋重三郎と浮世絵の キセキ		【8/2~10/19】 千葉市美術館と現代美術			【11/1~1/8】 千葉市美術散歩		【1/17~3/1】 ロックフェラー・ コレクション花鳥版画展		
							千葉国際芸術祭2025						
スポーツ・音楽		4/29~ JAPAN JAM 		7/9~20 	バレーボール ネーションズ リーグ	8/16,17 SUMMER SONIC 	9/13~ ROCK IN JAPAN FESTIVAL 	10/12~ アルティマー 千葉シーズン 開幕	11月3日で 開館30周年！				
歴史・環境		3/29~ BOTANICA MUSEUM リニューアルオープン								B1昇格！			
			動物科学館 リニューアルオープン 					11月頃~ 郷土博物館 リニューアル オープン					
地域の祭り					8/2 幕張ビーチ 花火 フェスタ 	8/16~17 親子三代 夏祭り 	今年は 節目の50回！					3月下旬~4月上旬 	千葉城 さくら祭り